

あがた福祉会

第54回

初の試み

各作業班別で行った慰労会

リサイクル班が登別マリパークニクス見学となりました。

今回、いちばんぼしではリ

サイクル班、出向班、わかさいも班と作業班別で慰労会を実施しました。3月18日出向班が、映画鑑賞・ショッピング、3月21日にわかさいも班がカラオケ・ランチバイキング・ドライブ、3月25日に

出向班は5人の利用者、2人の職員と少人数であるため、昼食は、マクドナルドで食べました。ショッピングではドン・キホーテに行き、目をキラキラさせている様子がとても印象的でした。

わかさいも班は、終始リラックスした様子が見られ、カラオケでは歌う曲を決めてきていて、引率する職員としてはとても助かりました。パー

チャラツナイ展望所に立ち寄り、きれいな太平洋をバックに記念写真を撮りました。

リサイクル班はペンギン散歩とイルカショー、アシカショーの各グループに分かれて楽しみました。昼食はすき焼き食べ放題で、お腹を満たしました。

今回、初の試みで作業班別の慰労会を行いました。今後、作業班別の慰労会を利用者、職員とも望んでおり、継続していきたいと思えます。(T・H)

笑顔で会いましょう!

地域自治組織「ともえ会」は、洞爺湖町内の11箇所のグループホームに住む利用者52人のうち、43人が加入しています。町内のゴミ拾いや学習会、近隣で開催される研修会への参加などの活動をしています。中でも、利用者の1番

の楽しみが、毎年3月末に行われる交流会です。

交流会は毎年、赤川集会所で実施しており、利用者の皆さんが、食事とゲームで交流を図ります。ゲームは、昨年まで、座布団取りゲームを行ってましたが、年々、足腰が弱くなってきたから参加できないという利用者が増えてきたため、今年は、企画担当のともえ会レク班の利用者が一生懸命考え、座ったままできる『しりとりゲーム』を実施しました。苦戦している人がいる一方、次々に言葉が出てくる人も多く、優勝が決まらず、最後は13人でのじゃんけんで優勝者を決めました。難しかったという声も聞かれ、来年の課題になります。

毎日、楽しいことばかりではなく、仕事が辛い、同居者と喧嘩したなど、不満を漏らすこともたくさんあります。しかし、皆が集まった時、そんな不満や悩みは全て吹き飛んだかのように、皆、生き生きとした表情になり、会話も弾みます。また1年會わない人たちもいますが、1年間、笑った顔を焼き付けておきたい、そんなKさんの思いに、絆の深さを感じ、その思いが来年も叶うように、しっかりとサポートしなければならぬという思いを抱きました。

作業の場が異なると、他のグループホームの利用者と交流する機会はありません。交流会で皆に会うことを楽しみにして参加する利用者がほとんどです。1時間半という時間を、情報交換の場、近況報告の場として、大切に過ごしていました。レク班代表のあ

(M・S)



会話も弾む「ともえ会」の交流会



出向班



わかさいも班

リサイクル班



ティールームを借りて、歌って、踊って、楽しみました。ドライブでは天候に恵まれ、室蘭観光道路を通過して、